

## 令和6年度における春日部市立医療センター経営強化プランの進捗状況について

重点機能	がん医療
取組事項	地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
	地域の二次検診者の受入れによる高度治療の提供
	診療科の連携による治療の提供
	緩和ケア病棟の質の向上と、在宅緩和ケアの適切な支援
	外来化学療法強化
内視鏡下手術支援ロボットの更新	
成果指標	① がん登録数 ② 外来化学療法件数

### ① がん登録数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	1,300件	1,350件	1,400件	1,450件
成果指標の実績値	1,148件	1,320件	件	件	件
達成率	—	101.5%	%	%	%

### ② 外来化学療法件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	4,000件	4,100件	4,200件	4,300件
成果指標の実績値	3,871件	4,045件	件	件	件
達成率	—	101.1%	%	%	%

### 令和6年度の評価

- がん登録数(成果指標①)、外来化学療法件数(②)については、集患活動による紹介患者数の増加により、がんを含めた重症度の高い患者の増加や、手術室の機能充実など、がん医療の強化を図ったことから、目標を達成することができた。
- これまでの放射線治療に比べより効果の高い治療法であるIMRTを開始するとともに、増加傾向にある前立腺がんに対応するため、この治療に特化した前立腺がん治療センターを立ち上げるなど、体制の強化を図ることができた。
- 紹介患者数が、14,813件から16,574件と大幅な増加となり、二次検診者の受入れを積極的に行ったことで、より多くの患者に高度治療の提供をすることができた。
- 多くの診療科においてカンサーボードを週1回程度実施し、他科にわたる広域的な事象の場合は、関係各科の関係者を対象としたカンサーボードを年1回開催したことで、それぞれの診療科が連携し、患者に向き合った治療を提供することができた。
- 緩和ケア病棟を令和6年7月に再開させ、緩和ケアチームによる疼痛管理の活動を実施するなど、質の高い医療を提供することができた。
- 手術支援ロボットの更新や内視鏡手術システムの増設などを行い、手術時間の短縮や、患者負担の軽減を図ることができた。

重点機能	小児・周産期医療
取組事項	新生児に対する比較的高度な医療の提供
	ハイリスク分娩に対応する専門医療の実施
	小児患者の入院受入強化
成果指標	① 分娩件数

① 分娩件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	350件	400件	400件	400件
成果指標の実績値	334件	296件	件	件	件
達成率	—	84.6%	%	%	%

令和6年度の評価

<p>○分娩件数(成果指標①)については、晩婚化・未婚化など出生数が減少したことにより、目標達成には至らなかった。</p> <p>○地域周産期母子医療センターとなり、受入児童の範囲が、体重1,500gまでの低出生体重児から、1,000gまでの極低出生体重児までに拡大したことにより、受入件数の増加につながった。</p> <p>○受入地域に、利根医療圏の一部(幸手市、杉戸町、宮代町)が含まれており、これらの地域から35人(11.8%)を受け入れ、地域の周産期医療に貢献することができた。</p> <p>○NICU・GCUの看護職員を増員したことにより、専門性をより発揮できるよう入院治療対応の強化を図った。</p>
---

重点機能	救急医療
取組事項	救急患者の受入強化
	ハイケア病床の高稼働
	脳卒中や急性心筋梗塞など、専門的な診療体制の充実
	救急科設置、ER型救急の導入
成果指標	① 救急受入件数 ② ハイケアユニット利用率

① 救急受入件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	3,400件	3,600件	3,800件	4,000件
成果指標の実績値	3,531件	3,982件	件	件	件
達成率	—	117.1%	%	%	%

② ハイケアユニット利用率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	70.0%	75.0%	80.0%	80.0%
成果指標の実績値	55.5%	59.3%	%	%	%
達成率	—	84.7%	%	%	%

令和6年度の評価

- 救急受入件数(成果指標①)については、医師、看護師をはじめとした医療従事者、消防職員、事務職員で構成される「救急医療運営委員会」を月1回開催し、受け入れ困難ケースの検証などの救急搬送の現状把握、情報共有に努め、救急受入件数が451件増となった結果、目標値を大幅に上回ることができた。
- ハイケアユニット利用率(②)については、「ハイケア運営委員会」を2か月に1回開催し、看護必要度の該当条件を確認しながら利用率の向上について研究を進め、現場においてセットメニューなどを用い積極的な運用を進めた結果、前年度よりも利用率は向上したものの目標達成には至らなかった。
- 救急科の設置、ER型救急の導入については、十分な救急専門医の確保が出来ず、導入には至らなかったものの、医師を4人(内科、外科、整形外科、麻酔科)増員したことにより、救急患者の受け入れ体制の強化を図った。

重点機能	災害時医療
取組事項	災害時連携病院として役割に基づく受入体制の強化 ----- 災害拠点病院を目指し、重症患者の受入体制を構築
成果指標	—

#### 令和6年度の評価

- 令和5年12月に県から指定を受けた「災害時連携病院」としての役割を担うため、春日部市五師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会・接骨師会・鍼灸マッサージ師会)及び春日部市主催の災害時医療救護訓練へ参加するとともに、同日開催した多数傷病者受入訓練に医師、看護師等の職員が参加し、トリアージ訓練を行うなど大規模地震等発生時の医療救護所との連携強化を図ることができた。
- 災害時における中等症患者や容態の安定した重症患者の受け入れを行うため、災害拠点病院との連携による通信や搬送の訓練を実施し、通信手段の有効性や、搬送ルートの確認など災害発生時における実践的な対策や対応を学ぶことができた。
- 災害拠点病院の指定に向け、必要不可欠なDMAT隊の経験値及び知識向上を図るため、国民保護訓練へDMAT隊4名を派遣し、他病院のDMAT隊との連携強化や現場における対応などを実体験として学ぶことができた。

重点機能	経営基盤の強化
取組事項	紹介率及び逆紹介率の向上
	病床利用率の向上
	手術件数の増加
	加算・指導料などの出来高の算定強化
	診療報酬改定対応
	未収金対策の強化
	診療材料費の削減
成果指標	① 経常収支比率 ② 修正医業収支比率 ③ 1日平均入院患者数
	④ 1日平均外来患者数 ⑤ 手術件数 ⑥ クリニカルパス適用率 ⑦ 紹介率
	⑧ 逆紹介率 ⑨ 病床利用率 ⑩ 平均入院診療単価 ⑪ 平均外来診療単価
	⑫ 職員給与比率 ⑬ 材料費比率 ⑭ 常勤医師数 ⑮ 常勤看護師数
	⑯ 臨床研修医の受入数

① 経常収支比率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	95.9%	97.1%	98.6%	100.4%
成果指標の実績値	94.4%	93.5%	%	%	%
達成率	—	97.5%	%	%	%

② 修正医業収支比率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	89.6%	90.9%	92.5%	94.7%
成果指標の実績値	86.1%	86.8%	%	%	%
達成率	—	96.9%	%	%	%

③ 1日平均入院患者数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	287人	293人	296人	300人
成果指標の実績値	265.8人	281.1人	人	人	人
達成率	—	97.9%	%	%	%

④ 1日平均外来患者数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	—	700人	710人	720人	730人
成果指標の実績値	709.1人	691.7人	人	人	人
達成率	—	98.8%	%	%	%

⑤ 手術件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	3,200件	3,400件	3,600件	3,800件
成果指標の実績値	2,863件	3,242件	件	件	件
達成率	－	101.3%	%	%	%

⑥ クリニカルパス適用率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%
成果指標の実績値	37.4%	40.5%	%	%	%
達成率	－	101.3%	%	%	%

⑦ 紹介率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%
成果指標の実績値	60.9%	80.3%	%	%	%
達成率	－	105.7%	%	%	%

⑧ 逆紹介率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	41.0%	42.0%	43.0%	44.0%
成果指標の実績値	42.5%	51.5%	%	%	%
達成率	－	125.6%	%	%	%

⑨ 病床利用率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	79.0%	80.5%	81.5%	82.5%
成果指標の実績値	73.2%	77.4%	%	%	%
達成率	－	98.0%	%	%	%

⑩ 平均入院診療単価

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	67,000円	68,500円	70,000円	71,500円
成果指標の実績値	64,620円	66,586円	円	円	円
達成率	－	99.4%	%	%	%

⑪ 平均外来診療単価

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	22,500円	23,000円	23,500円	24,000円
成果指標の実績値	21,216円	21,997円	円	円	円
達成率	－	97.8%	%	%	%

⑫ 職員給与比率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	53.6%	52.8%	52.5%	52.0%
成果指標の実績値	56.1%	56.0%	%	%	%
達成率	－	95.7%	%	%	%

⑬ 材料費比率

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	31.6%	31.1%	30.2%	29.3%
成果指標の実績値	32.3%	32.8%	%	%	%
達成率	－	96.3%	%	%	%

⑭ 常勤医師数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	75人	78人	79人	80人
成果指標の実績値	73人	77人	人	人	人
達成率	－	102.7%	%	%	%

⑮ 常勤看護師数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	339人	344人	347人	350人
成果指標の実績値	327人	334人	人	人	人
達成率	－	98.5%	%	%	%

⑯ 臨床研修医の受入数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標の目標値	－	14人	14人	14人	14人
成果指標の実績値	14人	14人	人	人	人
達成率	－	100.0%	%	%	%

令和6年度の評価

○経常収支比率(成果指標①)については、収支計画と比較して特に人件費で1.6ポイントの増、材料費で1.0ポイントの増と、経常費用の増加が大きかったことが影響して、目標達成に至らなかった。

○修正医業収支比率(②)については、経常収支比率と同様に、人件費や材料費などの医業費用の増加が大きかったことが影響して、目標達成には至らなかった。

○1日平均の入院患者数(③)、外来患者数(④)については、下半期の入院患者数は平均で299.3人、外来患者数は平均で711.6人と、下半期は目標値を超えていたが、上半期に、新規採用職員の実践配置に伴う入院の抑制などにより、目標達成には至らなかった。

○手術件数(⑤)、紹介率(⑦)、逆紹介率(⑧)については、地域の医療機関への集患活動や、救急車の積極的な受け入れ等を行ったことにより、目標を達成することができた。

- クリニカルパス適用率(⑥)については、パスの適用率が低い診療科に対し、パスのメリットを説明し作成を促した結果、目標を達成することができた。
- 病床利用率(⑨)については、下半期は平均で82.4%と目標値を超えていたが、上半期は平均72.5%であったことが影響して、目標達成には至らなかった。
- 入院・外来の診療単価(⑩、⑪)については、手術件数や外来化学療法件数の増加により、入院・外来とも前年度から増加したものの、目標達成には至らなかった。
- 職員給与比率(⑫)については、人事院勧告等による職員給与費の増により、目標値53.6%に対し、実績値は2.4%増の56.0%、前年度比0.1%減となったが目標達成に至らなかった。
- 材料費比率(⑬)については、価格交渉や一括購入などの取り組みを行ったが、薬品費、診療材料費などの物価高騰に加え、抗がん剤治療件数や手術件数が増加したことから、目標達成には至らなかった。
- 常勤医師数(⑭)については、高度で専門的な診療体制の強化を図るため、内科、外科、整形外科、麻酔科でそれぞれ1人の増員をした結果、前年度比4人増となり目標を達成することができた。
- 常勤看護師数(⑮)については、NICU・GCU病棟の人員の増など、必要な人員配置を行った結果、前年度比7人増となったものの目標達成に至らなかった。
- 臨床研修医の受入数(⑯)については、見学者を積極的に受入れることにより、募集定員を大幅に上回る受験者数となり目標を達成することができた。
- 加算・指導料などの出来高の算定強化については、新型コロナの臨時措置の終了で約1,000万円の加算がなくなったが、他のDPC制度上で出来高算定可能な加算などの算定を強化した結果、前年度比100万円弱の減収にとどめることができた。
- 診療報酬改定対応については、令和6年度診療報酬改定によるベースアップ評価料の対応をスムーズに行ったことで、対象となる医療従事者の賃金の改善につながった。
- 未収金対策の強化については、前年度を上回る債権整理を実施し、未収金を減らす取組を着実に進めることができた。